例会において、議案に対する質疑並

平成¹年第1回(3月)市議会定

挨

びに一般質問をさせていただきました.

さて、新年度予算編成に目を転じ

市政に関する報告 り、先般、策定され り、先般、策定され り、先般、策定され り、先般、策定され り、先般、策定され り、た般、策定され り、た般、策定され か、 たん 球温暖化対策ない か、 たん 球温暖化対策ない か、 たん 球温暖化対策ない か、 たん ・ ない でも、 緑の機

市議会定例会

川口市議会議員

字田川

《質疑並びに一般質問

屋上緑化の推進について

川口市では「植木の里・安行」の伝知技術等を活かした緑のまちづくりがあれるということで、本市の産業として380年以とで、本市の産業として380年以とで、本市の産業として380年以とで、地元や緑化産業関係者が大との歴史を持つ安行の植木ブランドとで、地元や緑化産業関係者が大います。今後もさらにこの事業を推進されることを期待しているものであると考えています。

%の減、市税全体で○5%の減を見込

景気悪化の影響により、前年度比55ますと、歳入において、法人市民税が

むなど、財源の確保が以前にも増し

扶助費等の義務的経費が増加基調にて厳しい状況である上、歳出において

ます。 さて、比較的緑が豊かな川口北東であるが、ます。

ので、今回ダイジェスト版として要旨市政全般にわたり質問いたしましたで、微力ながら、地域の問題を含めた

を記載させていただきました。

員として活動してまいりますので、

今後も市民の皆様に一番身近な議

ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいた

とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地とートアイランド現象の緩和や地

充を図ると表明されております。 抑制に資するため屋上緑化事業の拡 象の緩和や夏場の消費エネルギーの まの緩和や夏場の消費エネルギーの は、都市部のヒートアイランド現 時され、都市部のヒートアイランド現 は、昨年12月議会の所信と報

学習環境の改善だけでなく、改修の ックの時代とアピールしているよう はスクラップアンドビルドから、スト 質化などの環境技術の導入と耐震補 断熱、自然換気、屋上緑化、室内の木 過程を通じて、生徒達の環境教育の と環境教育でありますが、この事業は は、校舎の耐震化にあわせたエコ改修 でいる北名古屋市の西春中学校を訪 境教育」モデル事業として取り組ん 6名は、先月環境省の「学校エコと環 大な費用負担でありますが、環境省77万円。2分の1国庫補助という膨 強工事であり、総事業費は8億9千 改修内容は、太陽光パネル、雨水利用 され進められたとの事でありました。 とし、平成17年度、全国で9校が選定 推進や地域技術者の育成などを目的 れ、勉強させていただきました。内容 そこで私たち自民党市議団2期生

リのある予算編成が行われました。

一方、4分という短い質問時間の中

まえた取捨選択をするなど、メリハあり、事業の緊急性及び適時性を踏

2009年4月

面積からみると大きな存在です。断用とは言えませんが、学校施設は床 程遠い事を学びました。それでは、ど の廃熱により、ヒートアイランド現 熱材等の省エネ対策を行わないでエ ント未満で低く、業務用ビルと比 中学校のエアコン普及率は10パーセ 慮した耐震工事をすべきであると痛 決できるのが屋上の芝生化でありま うしたらよいかという問題を全て解 よる財政負担の増大と環境改善とは 象の悪化、ランニングコストの上昇に 量のCO2の排出となり、室外機から 合、エネルギー消費の増大により大 アコンだけの熱環境整備を行った場 実であります。現在の全国の公立 コンの設置が求められているのが現 という、劣悪な学習環境であり、エア とアピールしているようであります 感したときでもありました。 した。参加した6人全てが環境に配 してそれほど大きなエネルギーの使 さて、学校の現状は夏暑く、冬寒い

るべきであると思います。(そして何よりも屋上緑化を推進す)

えております。
また、本市でも校庭の芝生を試験
また、本市でも校庭の芝生化も
が展ります。そこで、屋上の芝生化も
難しく、若干の問題も出ているよう
用するのには芝の休息時間の確保が
的に行っておりますが、校庭として使

置づけされているうえ、安行には、地本市の産業の一つに緑化産業が位

の活性化にも繋がるものと考えてい上緑化の推進は、これらの地域産業緑化技術もございますことから、屋及活動を展開している先進的な屋上元で開発され、造園業者が共同で普

えなのかをお尋ねいたします。今後の取組について、どの様にお考屋上緑化を幅広く推進するための

そこで、お伺い致します。

[回答]

大きな課題となっております。で、いかに都市緑化を推進するかはで、いかに都市緑化を推進するかはとまった緑地の確保が難しくなる中とまっか多く建ち並ぶようになり、まションが多く建ち並ぶようになり、ま議員ご指摘の通り、近年益々マン

このため本市では、ヒートアイラン

近は、そごう川口店、武南病院等におための補助制度を創設し、都市部のための補助制度を創設し、都市部のための補助制度を創設し、都市部のについて、平成7年度から奨励の化について、平成7年度から奨励の北について、平成7年度から奨励の非常に有効な手法と言われる屋上緑ド現象の緩和や地球温暖化対策にもド現象の緩和や地球温暖化対策にも

たいと存じます。 本市といたしましますの音及を図って参りき上げ、地域産業の活性化にも資すら屋上緑化奨励補助金の限度額を引ら屋上緑化奨励補助金の限度額を引いて屋上緑化が実施されております。



安定化対策事業について

過ぎようとしております。 に安定した公共交通として8年間が 安行の一部、戸塚の南部といった地域 鳩ヶ谷市を含む川口市内の神根東部 道線が開通し、陸の孤島といわれた、 平成13年3月に地下鉄埼玉高速鉄

ら約4年前に、市の財政支援に頼ら 多くの市民が苦しい経営状況の中で 会社に財政支援を続けております。 ない健全化を求めるべく、研修会を では、埼玉高速鉄道株式会社と今か かと考え、自民党川口市議会議員団 以上の税金投入は厳しいのではない また、現在までは認めてきたが、これ だけに使ってしまってよいのだろうか 汗水流して納めている血税を、果た ても、川口市から埼玉高速鉄道株式 通させた事は基より、開通後におい して公共交通機関とはいえ、一社の為 実施しております。 |方で、2600億円を投入して開

ONEは、官から民の経営であり、改 の杉野正氏を先頭に埼玉高速鉄道改 時赤字が続く「しなの鉄道」を、わず 果を上げる事が難しいとも言われて 革のアクションプランを前面に打ち 句に、改革のROAD 革プラン、第2の創業への道を謳い文 を買われ社長に迎えられた、民間人 か2年間で黒字転換させ、その手腕 きたのも事実であります。しかし、当 副知事の天下りポストと噂され、成 表取締役社長というポストは埼玉県 なお、埼玉高速鉄道株式会社の代 TO ONLY

> でも鮮明に覚えております。 目指して、突き進んでいたことを今 基準であり、赤字体質からの脱却を 出し、償却前損益の改善が真の評価

業開始当初では、来年度が最終年度 6年に亘り行ってきておりますが、事 県と沿線2市と共同で資金的支援を 式会社の経営安定化を図る為、埼玉 ております。これは、埼玉高速鉄道株 費として4億3千6万円が計上され 速鉄道株式会社経営安定化対策事業 算中、一般会計の8款土木費4項都市 と成る事が謳われております。 計画費3目都市交通対策費に埼玉高 さて、本市における平成21年度予

伺いいたします。 2年度からの本事業について以下お 左右されることとなると思いますが より埼玉高速鉄道株式会社の経営が ます。この経営安定化事業の有無に 300億円の血税を充てた事になり きており、事業費の総額では、実に約 年間で総額56億7千万円を投入して となっており、平成21年度を含む7 |方で、本市の負担割合は15分の3

についてお伺いいたします。 ①として、埼玉高速鉄道の経営状況

【回答】

を鑑みれば、依然として厳しい状況 済状況が及ぼす沿線開発への影響等 設に係る借入金の償還や、昨今の経 きているところでは有りますが、建 輸送収入ともに堅調に伸びており 償却前損益の黒字化も視野に入って 平成13年の開業以来、輸送人員

じます。 にあることから、今後とも引き続き 経営状況を注視してまいりたいと存

方法について ②として、財政支援を伴わない支援

ります。例えば、JR線と埼玉高速鉄 いたします。 ような努力をしてきたのか、お伺い が、本市として、開通から8年間どの 経営安定が図られるものと考えます も繋がり、埼玉高速鉄道株式会社の を進め、JR川口駅の|極集中回避に 指定されており積極的に再開発事業 は、県の都市再開発方針2号地区に 道線が最も接近する川口元郷駅周辺 自ずと経営向上が図られるものであ これは、乗車率を上げることにより

[回答]

要な位置づけがあり、既に優良建設 れた地区もございます。 物等整備事業により整備改善が図ら 地区の整備は、市の発展において重 効利用を図る」ことと成っております 方針では、「魅力ある新しい複合都市 への再生を目指し、大規模敷地の有 このことからも、川口元郷駅周辺 議員ご指摘のとおり、都市再開発

まいりたいと存じます。 がら、効率的な市街地整備を進めて 基盤整備事業の推進状況を勘案しな しては、土地区画整理事業等、各都市 今後の当地区の整備方針につきま

ら引き続き支援を求められた場合、 ③として、埼玉高速鉄道株式会社か

伺いいたします。

回答

まいりたいと存じます。 年度以降の経営環境の安定化につい から、先ほども述べましたように、2 は依然として厳しいものであること いておりませんが、同社の経営状況 財政支援の要請は、現在のところ頂 接に連携しながら、対応を検討して ては、埼玉県をはじめ沿線2市と密 平成2年度以降における具体的な

お伺いいたします。 経営上にどの程度関係してきたのか ④財政支援をしてきた以上、本市が

回答

利用促進に努めてまいりたいと存じ ましても、同社と連携しながら、その が、今後も引き続き、経営状況の改善 みを促してきたところでございます 備要望において、利用者増の取り組 へ自助努力はもとより、本市といたし 県や沿線市等と関係者会議や鉄道整 かねてから同社に対しましては



本市としての対応はどうなるのかお

川口市バス路線網等

調査事業について

(質問趣旨抜粋)

全ての原点となる「バス路線網等調 伺いいたします。 査」をどのように行っているのかお ①として、公共交通を改善する為の

(回答)

て調査を行っているところでござい な公共交通システムの可能性につい 路線変更による対応や改善策、新た 対応手段について、既存バス路線の 網の問題点を整理し、その改善方策、 慮しながら、本市が抱える公共交通 応した高齢者の移動手段の確保も考 本調査は、今後の高齢化社会に対

②として、平成21年度予算には、川口 市バス路線網等調査事業に関する予 についてお伺いいたします。 算計上がありませんが、事業の存続

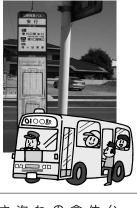
(回答

ソントリップ調査の結果等を踏まえ 21年度におきましては、20年度の調 検討を行っているところであり、平成 いと存じます。 等について調査を実施してまいりた ながら、市内の公共交通の改善手法 いて検討し、改めて、東京都市圏パー 査結果を参考に、今後の方向性につ 通の改善方策や対応手段について、 白地区及び不便地を把握し、公共交 平成20年度の調査は、公共交通空

何いいたします。 り方策について何時頃まとめあがるり方策について何時頃まとめあがるりがでのか、具体的な作業工程についておるができたができません。 ③として、事業としてQ年度予算計

回答

今後は、市内全域について、議員ご今後は、市内全域について、 東京策をまとめ、その実現に努めて を通体系調査を実施し、具体的な改 で通体系調査を実施し、具体的な改 で通体系調査を実施し、具体的な改 を通体系調査を実施し、具体的な改 を通体系調査を実施し、具体的な改 を通体系調査を実施し、製造のなり を通体系調査を実施し、製造のなりないで、 で通体系調査を実施し、製造のなりないで、 で通体系調査を実施し、 で通体系調査を実施し、 大ので、 で通体系調査を実施し、 大ので、 で通いないで、 で通いないで、 で通いないで、 で通いないで、 での表した公共 での表した公共 での表した公共 での表した公共 での表した公共 での表したいで、 での表した公共 での表したいで、 でのまたいで、 でいて、



地域の問題

■赤堀用水路について

用されていましたが、社会環境の変代用水路からの農業用水路として利円滑に水田に用水が届くよう、見沼円滑に水田に用水が届くよう、見沼行ううえで必要な用・排水路として、赤堀用水路は、本来、農業生産を

ようになっています。用水の共用水路としての役割を担う化により、現在では、農業用水と都市

一方で、川口市内においては、見沼田んぼを除けば、ほとんど田園がなくなっているのが実情であり、下流域くなっているのが実情であり、下流域がな湧き水と下水道認可区域外からの生活雑排水が滞留し放流していないのが実情であります。特に、昨年12月我が党の若谷議員の質問で見沼代月我が党の若谷議員の質問で見沼代月我が党の若谷議員の質問で見沼代に水源を見沼代用水の後期通水が少ない事から、見沼土地改良区に冬水の増量を要望していくとの答弁でしたが、それ以上に水源を見沼代用水に依存しているに水源を見沼代用水に依存している下流域の赤堀用水では常時通水を要望するものであります。

第3次総合計画の位置づけでは、第3次総合計画の位置づけでは、第3次総合計画の方式、付近住民から「臭い」から何とかしてくれとの要望がされなかったうえ、付近住民から「臭されなかったうえ、付近住民から「臭されなかったうえ、付近住民から「臭されなかったうえ、付近住民から「臭されなかったうえ、付近住民から「臭ががしていただいております。

いいたします。 何けはどのように考えるのか、お伺①として、今後、用水路としての位置

回答

赤堀用水路につきましては、昭和

ってきているところであります。 か、水害が多く発生いたしましたこみ、水害が多く発生いたしましたこか、その後、沿川地域の都市化が進めり、その後、沿川地域の都市化が進いたし、本市に引き継がれたものでいたし、

ます。計画の中に反映して参りたいと存じ河川環境整備が図られるよう、事業がを考慮いたし、沿川地域にあった状を考慮いたし、沿川地域にあったな完了した段階で、赤堀用水路の現る完了した段階で、赤堀用水路の現

たします。うして受け入れているのかお伺いい②として、用水路に生活雑排水をど

(回答)

赤堀用水路における生活雑排水の でけ入れにつきましては、昭和55年 フ月16日付けで、赤堀用水路土地改良区の解散が、埼玉県知事から認可良区の解散が、埼玉県知事から認可良区の解散が、埼玉県知事から認可良区の解散が、埼玉県知事から認可良区の解散が、、本市に都市排水路として引き継がれ、現在にいたっておりますことから、ご理解を賜りたから、ご理解を賜りたいと存じます。



■安行地区の下水道について

田市内の下水道処理人口普及率に は平成19年度末で1.パーセントであり、公衆衛生が整った街のようであり、公衆衛生が整った街のようであり、公衆衛生が整った街のようでありますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間格差が大きく、ますが、実際は地域間を対望しており、地域を挙げてある。

まですが、 さて、平成21年度当初予算を見る さて、平成21年度当初予算を見る と、安行地区内の下水道築造事業は、 と、安行地区内の下水道築造事業は、 と、安行地区内の下水道築造事業は、

るようになるのか、お伺いいたします。併せて、何世帯位が下水道処理できとなる試算なのかお伺いいたします。と安行地区は何パーセントの普及率と安行地区は何パーセントの普及率のとして、来年度の事業が完了する

【回答】

となる見込みです。 数につきましては、約4700世帯では、約38%となり、下水道処理世帯では、約4700世帯では、約4700世帯の下水道処理人口普及率につきましいで、当該地区

年度は全ての工事が終了できるのかきなかった所が一部ありましたが、今をもたらし、年度内に工事が完了でをもたらし、年度内に工事が完了で工事では流木が混入し、工事に支障工事では流木が混入し、工事に支障のとして、昨年は首都高速道路下の

お伺いいたします。

[回答]

行い実施しております。
下水道工事の着手に先立ち、地質調査をは、工事の着手に先立ち、地質調査を

るよう鋭意努力して参ります。り進捗していない箇所もございますり進捗していない箇所もございますり進捗していない箇所もございますりで確認できなかった流木やコンクリートガラ等が支障となり、予定通りで確認できなかった流木やコンク

(回答)

計で53件でございます。 成18年度6件、平成19年度10件、合成16年度16件、平成17年度9件、平成17年度9件、平につきましては、平成15年度21件、平につきましては、平成15年度21件、平



FAX送信用紙

宇田川よしひで宛 FAX.048-296-7070

市政全般について、あなたのご意見をお待ちしております

フリガナ				
お名前				
ご住所	(〒 -)		
ご連絡先	電話番号		FAX	
	携帯電話		Eメール	

-+--1)-----1

ホームページ更新!!

宇田川よしひで

検索

活動情報を掲載! く クリック ブログも随時更新!

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

